

有害事象チェックシートを用いたがん化学療法用服薬情報提供書の
統一様式の提案について

薬薬連携協議会

井深宏和

がん化学療法用服薬情報提供書（以下「TR」）とその運用において参考にしていただくための有害事象チェックシート（以下「CS」）を作成しましたのでご紹介します。

がんの治療を受けている患者が、どの薬局に処方箋を持っていっても安心して薬物療法を続けられるようにする必要があります。このため、外来化学療法を実施する医療機関と薬局が、連携して患者の治療の状況等を共有するとともに、薬局薬剤師は、患者のレジメン（治療内容）の情報を活用し、患者への副作用対策の説明や支持療法に係る薬剤の服薬指導とともに、調剤後のフォローアップが重要となってきております。令和2年度診療報酬改定で、特定薬剤管理指導加算2（調剤報酬）、連携充実加算（診療報酬）が設けられ、地域でしっかりと薬薬含め連携をして支えていくことがより重要になってきているとことだと思えます。

そこで岐阜県薬剤師会では岐阜県病院薬剤師会と薬薬連携協議会を設置し、薬局から外来化学療法を実施する医療機関へ情報提供する際のTRの統一的な様式を提案することとしました。既に、岐阜市薬剤師会（薬薬連携委員会）が作成、運用されているTRとCS（以下「TR等」）を基に、県病院薬剤師会、地域薬剤師会の意見を踏まえて修正等を加えたものです。このTR等は、副作用グレード評価（CTCAE：有害事象共通用語規準）にフローチャート式チェックシートを用いることで、容易に統一的でレベルの高いTRを作成できるように工夫しています。

地域・薬局でTRのフォーマットを検討しておられるような場合には、このTR等のご活用をお願いいたします。もちろん、既に運用されているTRがある場合、特に変更をお願いするものではありません。

様式は、TR等の活用を提唱する県薬、県病薬、岐阜市薬のホームページのほか、一部病院のホームページからもダウンロードできますのでご活用ください。

岐阜県薬剤師会 URL：<https://www.gifuyaku.or.jp/yakuyaku/>

QRコード：



岐阜県病院薬剤師会 URL：https://www.gshp.jp/renkei/renkei_tr.html

QRコード：



岐阜市薬剤師会 URL：<http://gifu-shiyaku.net/tracingreport/tracingreport.html>

QRコード：

